

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公表番号】特表2006-520195(P2006-520195A)

【公表日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-035

【出願番号】特願2006-503098(P2006-503098)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 5/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 5/00 E

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月23日(2007.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒトHIF-1をコードする核酸分子を標的とする、配列番号：2、5' aatgagccaccagtgtccaa 3'を含む配列を有し、ヒトHIF-1の発現を抑制するオリゴヌクレオチド化合物、RX-0047。

【請求項2】

アンチセンスオリゴヌクレオチドである、請求項1記載の化合物。

【請求項3】

少なくとも1の被修飾ヌクレオシド間結合であるホスホロチオエート結合を有する、請求項2記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項4】

請求項1記載の化合物をヒトの細胞または組織と接触させ、前記細胞または組織におけるHIF-1発現を抑制するための、請求項1記載の化合物を含む医薬組成物。

【請求項5】

ヒトHIF-1配列にハイブリダイズする、RX-0047である配列番号：2、5' aatgagccaccagtgtccaa 3'を含むオリゴヌクレオチドを癌細胞内に導入し、該細胞において細胞障害性を誘導するための、該オリゴヌクレオチドを含む医薬組成物。

【請求項6】

ヒトHIF-1をコードする核酸分子を標的とする、配列番号：4、5' ggagctaacatctccaagtc 3'を含む配列を有し、ヒトHIF-1の発現を抑制するオリゴヌクレオチド化合物、RX-0149。

【請求項7】

アンチセンスオリゴヌクレオチドである、請求項6記載の化合物。

【請求項8】

少なくとも1の被修飾ヌクレオシド間結合であるホスホロチオエート結合を有する、請求項7記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項9】

請求項6記載の化合物をヒトの細胞または組織と接触させ、前記細胞または組織におけるHIF-1発現を抑制するための、請求項6記載の化合物を含む医薬組成物。

【請求項10】

ヒトHIF-1配列にハイブリダイズする、RX-0149である配列番号：4、5' ggagctaacatctccaagtc 3'を含むオリゴヌクレオチドを癌細胞内に導入し、該細胞において細胞障害性を誘導するための、該オリゴヌクレオチドを含む医薬組成物。